

序 文

近年の急激な社会変化はいろいろな影響を地域に与えてきています。そこには、さまざまな都市問題が集中的に発生してきています。また急激な人口増・開発をめぐって住民の間に複雑な緊張を生み出し、特に産業の発展と開発は、住民の間にさまざまな緊張を生み、一方、住民間の緊張はかつて存在していた地域共同体の共通な文化的価値観を消失させています。

そういう状況の中で、人々は単なる経済的成長や物資の繁栄だけが決して人類の文化をすすめるものでないということに気づき、物質的価値だけでなく、豊かな精神的価値を求めざるを得なくなってきました。そういう状況の中で、本年、文化財総合調査の一環として、民俗調査に着手しました。この民俗調査を通じて、福生に住む私たちの日常を通じて流れる郷土の何にかがつかめればと思います。特に、今日のように、急激に変化する社会の中で、風俗、習慣年中行事・民具等、私たちの祖先が残した生活の中の文化が、ますます失なわれようとしている時に、きちんとした記録が作られることを大変有意義な事と思います。おわりに、この民俗調査にご協力くださった多くの市民の方々や調査にあたられた川鍋幸三郎先生他、調査員の方々に厚くお礼申し上げます。

このささやかな報告書が、多くの市民の方々に読まれ、市の文化財保護に対する一役をはたせれば幸に存じます。

一九七五年三月二十五日

福生市教育委員会

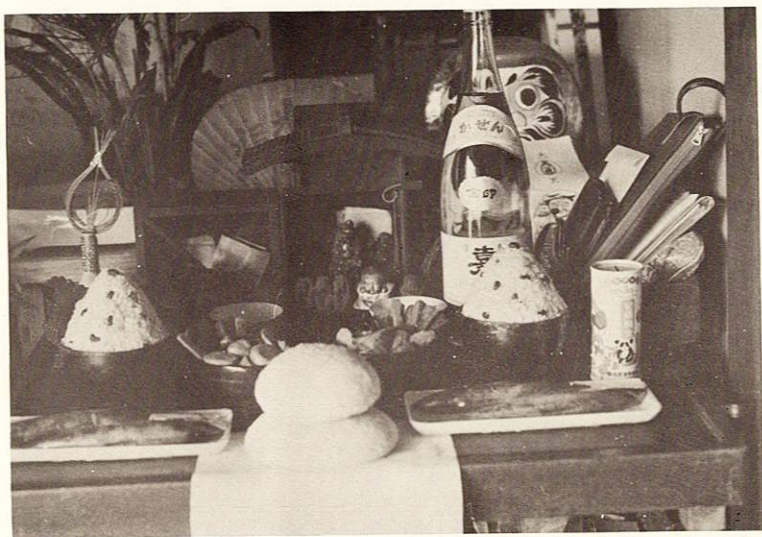
教育長 町田 倍二

目次

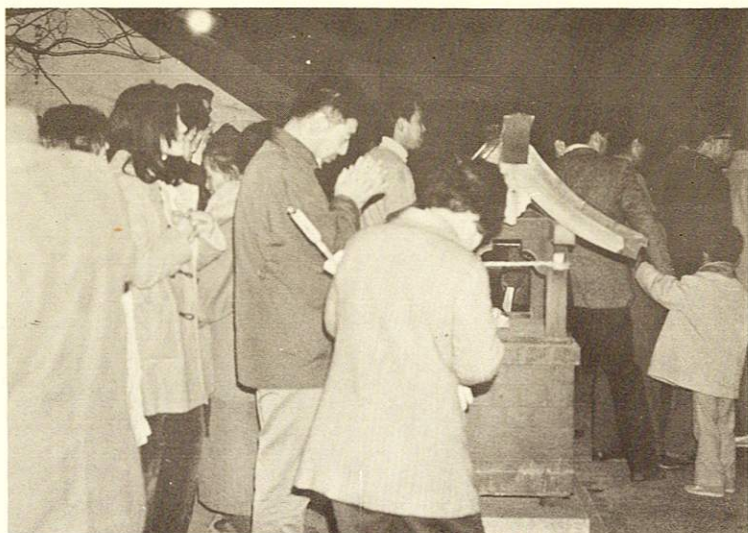
一、福生の民俗 ― 年中行事 ―	1
一、都市民俗学への志向	23
三、あとがき	



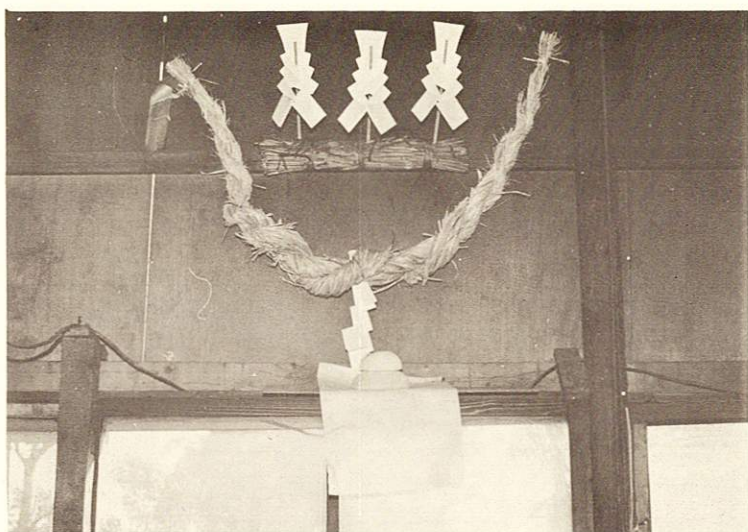
おかまじめの作成



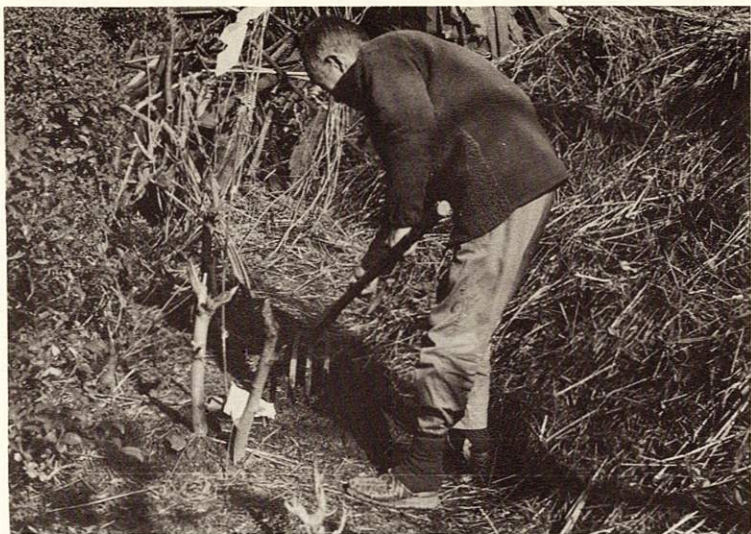
エビス講



初 詣



おかまはじめ



畑 う ない



ま ゆ だ ま